

柏市長 太田 和美 様

2023年10月13日

日本共産党柏市議会議員団

市内篠籠田での大規模浸水の再発防止策と 被害の補償を求める要望書

9月20日の大雨に伴う当該篠籠田の浸水被害では、多数の床上・床下浸水、自家用車の水没、汚水による悪臭被害と健康不安など、被災者から行政の支援を求める声が多数寄せられています。当日は通行止めの措置が取られなかったため、病院の送迎バスをはじめとした車両が浸水箇所をスピードを上げて通過し、その「波」が被害を拡大させました。

被害を発生させた下水道管は、柏駅周辺を含む区域の雨水・汚水を一時的に貯留する「篠籠田貯留場」への最下流に位置しており、当該地域では、同様の被害が何回も繰り返され、そのたびに改善を求める要望が行われてきました。

直近の令和2年10月20日付の町会と被害住民の要望に対して、秋山前市長名の同年11月12日付の回答では、①同地区において雨水幹線工事を実施中で、この事業は既存の下水管（注：今回被害をもたらした下水管）に流入している豊四季台団地などの雨水排水を分離して別ルートで大堀川に放流する管を整備するもので、この工事の完成によって既存の下水道管の負担が軽減される、②既存下水管の負担軽減により道路冠水の軽減にも一定の効果が期待される、③工事完成までの間、大雨時のパトロール箇所への追加、柵の点検など既存施設の機能確保に努める、というものでした。

しかし、①の工事が完了し、既存下水管の負担が軽減されたにもかかわらず、今回最悪の被害が起きたのは、③で約束した「柵の点検」「既存施設の機能確保」に問題があったと考えざるを得ません。

よって、以下の内容について実現を求めます。

1. 下水道管（マンホール）からの下水の噴出及び道路陥没の原因について、当該地区住民に説明すること。
2. 現段階の補修状況、今後の見通し、二度と繰り返さないための根本対策について、当該地区住民に説明すること。
3. 柏市独自の見舞金のほか、被災した住民に被害の補償を行うこと。
4. 浸水被害が予想される場合、迅速に道路を通行止めにする事。
5. 浸水の恐れがある場合の自家用車の移動場所（退避場所）を確保すること。
6. 浸水と児童生徒の登下校が重なった場合の安全確保に万全を期すこと。